

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	四国財務局長
【提出日】	平成30年2月13日
【四半期会計期間】	第55期第2四半期（自平成29年10月1日至平成29年12月31日）
【会社名】	穴吹興産株式会社
【英訳名】	ANABUKI KOSAN INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 穴吹 忠嗣
【本店の所在の場所】	香川県高松市鍛冶屋町7番地12
【電話番号】	087(822)3567(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 富岡 徹也
【最寄りの連絡場所】	香川県高松市鍛冶屋町7番地12(本社)
【電話番号】	087(822)3567(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 富岡 徹也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第2四半期連結 累計期間	第55期 第2四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自平成28年7月1日 至平成28年12月31日	自平成29年7月1日 至平成29年12月31日	自平成28年7月1日 至平成29年6月30日
売上高 (千円)	45,250,280	40,385,630	81,518,186
経常利益 (千円)	3,775,714	2,410,517	4,096,364
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	2,237,205	1,375,941	2,469,525
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,297,110	1,417,601	2,545,472
純資産額 (千円)	19,332,745	20,589,644	19,413,027
総資産額 (千円)	69,527,322	77,358,829	69,124,334
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	419.45	257.98	463.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	27.2	26.0	27.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,612,468	5,200,920	1,232,942
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,397,513	14,781	3,982,274
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,655,355	7,966,915	3,357,690
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	10,495,521	7,550,711	4,799,498

回次	第54期 第2四半期連結 会計期間	第55期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成28年10月1日 至平成28年12月31日	自平成29年10月1日 至平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 (円)	125.24	3.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成29年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。これに伴い、1株当たり四半期(当期)純利益金額は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

また、当社の連結子会社であった日本電力㈱は、平成29年7月1日付であなぶきパワー&リース㈱を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間において連結の範囲から除外しております。なお、あなぶきパワー&リース㈱は、日本電力㈱に商号変更しております。また、当社の連結子会社であったあなぶきアセット㈱は、平成29年8月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間において連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、様々な海外情勢により、先行きは依然として不透明な状況が続いているものの、企業収益や雇用情勢が良好な状況のなかで、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは主力である分譲マンション事業におきましては、堅調な状況にあるものの、今後の消費税率の再引き上げや景気変動等の環境の変化を見据えて、引き続き販売力の強化による早期完売に注力してまいりました。また、少子高齢化及び人口減少により分譲マンション市場の縮小が予想されるなかで、新たな収益の柱に育てるべく、介護医療関連事業、小売流通関連事業や高圧一括受電による電力提供を行うライフサポート事業等の強化を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は40,385百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益2,450百万円（同37.3%減）、経常利益2,410百万円（同36.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,375百万円（同38.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更し「小売流通関連事業」を加えており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である分譲マンションの販売について、当第2四半期連結累計期間における契約戸数は723戸（前年同期比17.1%減）、売上戸数は813戸（同24.7%減）となりました。契約戸数及び売上戸数の減少は、当第2四半期連結累計期間における新規販売開始マンション及び完成引渡マンションが少なかったことによるものであります。なお、当事業年度の完成引渡予定マンションのうち、当第2四半期連結会計期間末における未契約住戸は49戸を残すだけとなり、引き続き期初の予定どおり堅調な状況で推移いたしました。

また、平成29年9月に、不動産特定共同事業の手法を取り入れた不動産小口化商品の当社第1号商品となる「アルファアセットクラブ高松駅前」（香川県高松市）の組成を行い、全て売却が完了いたしました。

この結果、不動産関連事業の売上高は、26,231百万円（前年同期比20.6%減）、営業利益は2,214百万円（同46.2%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、分譲マンションにおける他社との共同事業における戸数については、当社事業割合で計算しており、これに伴い、前連結会計年度の戸数についても変更後の数値に組み替えて表示しております。

人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、国が推し進める地方創生と働き方改革の2つの政策によって起こりつつある変化を好機と捉え、様々な雇用機会の創出をととした「中四国No.1」の総合人材サービス企業への飛躍を目指して、地元企業への積極的な営業活動の展開や平成29年8月に東京都渋谷区に開設した「中国・四国UIターンセンター」を主軸としたUIターン転職支援の強化等に取り組んでまいりました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は3,181百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は84百万円（同107.3%増）となりました。

施設運営事業

施設運営事業におきましては、主力であるホテル事業及び施設運営受託事業等において、これまで培ってきた経営資源とグループ力を活用し、お客様起点のCS活動によるサービス品質の向上と新商品開発に注力いたしました。

また、施設運営受託事業においては、新たに平成30年4月より運営を行う「美馬市地域交流センター」（徳島県美馬市）の指定管理候補者（連結子会社穴吹エンタープライズ㈱が代表企業）に決定いたしました。

この結果、施設運営事業の売上高は3,064百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は198百万円（同55.2%増）となりました。

介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、有料老人ホーム（介護付き・住宅型）、サービス付き高齢者向け住宅及び通所介護（デイサービス）等の運営に関して、当事業を将来の基幹事業の一つとするべく、開設施設の早期の拡大、稼働率の上昇及び運営の効率化に注力いたしました。

この結果、介護医療関連事業の売上高は2,173百万円（前年同期比25.2%増）、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失430百万円）となりました。

小売流通関連事業

小売流通関連事業におきましては、平成28年9月より長崎県長崎市にて事業展開を行っているスーパーマーケット事業において、引き続き商品力、販売力及び売り場（提案力）等の改革・改善に注力し、収益体制の確立を目指しました。また、旧住吉店（長崎県長崎市）跡地に、分譲マンションとの複合開発の新店舗（平成31年春オープン予定）の着工や、大浦店（長崎県長崎市）の改装等を実施いたしました。

この結果、小売流通関連事業の売上高は3,317百万円（前年同期比49.7%増）、営業損失は22百万円（前年同期は営業利益74百万円）となりました。

その他事業

その他事業におきましては、高圧一括受電により分譲マンション等へ割安な電力提供を行うライフサポート事業において、当社グループ以外の分譲マンション事業者等への営業活動を強化し、サービス提供戸数及び施設の増加に注力いたしました。また、トラベル事業において、平成29年9月に、「につぼん丸」の貸切クルーズを企画するなど、観光需要の増加に対応した営業活動に取り組みました。

この結果、その他事業の売上高は2,416百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は20百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、7,550百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,751百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は、5,200百万円（前年同期3,612百万円の獲得）となりました。これは主にマンション事業に係るたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、14百万円（前年同期は2,397百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は、7,966百万円（前年同期は2,655百万円の獲得）となりました。これは主にマンション事業のプロジェクトに係る金融機関からの借入れによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,000,000
計	23,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,767,800	5,767,800	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式 単元株式数100株
計	5,767,800	5,767,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成29年10月1日～ 平成29年12月31日	-	5,767,800	-	755,794	-	747,590

(6)【大株主の状況】

平成29年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)穴吹ハウジングサービス	香川県高松市紺屋町3-6	2,547	44.17
穴吹 忠嗣	香川県高松市	788	13.67
(株)カトーサービス	香川県観音寺市坂本町4-6-3	124	2.15
穴吹 薫	香川県高松市	77	1.35
和歌 弘州	香川県高松市	73	1.27
あなぶき興産従業員持株会	香川県高松市鍛冶屋町7-12	72	1.25
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	67	1.17
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	64	1.11
(株)ワカタケ	大阪市生野区林寺4-8-8	51	0.89
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2-7-1)	44	0.76
計	-	3,912	67.82

(注)1. 上記のほか、自己株式が434千株あります。

2. 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、60千株であります。なお、その内訳は、投資信託設定分55千株及び年金信託設定分5千株となっております。

3. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、31千株であります。なお、その内訳は、投資信託設定分28千株及び年金信託設定分3千株となっております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 434,200	-	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,332,400	53,324	同上
単元未満株式	普通株式 1,200	-	-
発行済株式総数	5,767,800	-	-
総株主の議決権	-	53,324	-

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
穴吹興産(株)	香川県高松市 鍛冶屋町7-12	434,200	-	434,200	7.53
計	-	434,200	-	434,200	7.53

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年7月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,807,898	7,559,111
受取手形及び売掛金	1,322,606	1,460,692
販売用不動産	14,930,012	16,527,462
仕掛販売用不動産	22,742,165	26,812,601
その他のたな卸資産	274,741	316,514
繰延税金資産	411,371	400,775
その他	2,551,621	2,782,958
貸倒引当金	13,250	11,503
流動資産合計	47,027,166	55,848,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,930,747	9,856,927
機械装置及び運搬具(純額)	645,097	611,780
土地	6,985,332	6,835,604
建設仮勘定	6,750	6,750
その他(純額)	591,352	604,746
有形固定資産合計	18,159,280	17,915,809
無形固定資産		
のれん	310,590	263,368
その他	220,262	210,271
無形固定資産合計	530,853	473,640
投資その他の資産		
投資有価証券	348,647	355,593
繰延税金資産	181,624	314,122
その他	2,884,245	2,459,984
貸倒引当金	7,483	8,933
投資その他の資産合計	3,407,034	3,120,767
固定資産合計	22,097,167	21,510,216
資産合計	69,124,334	77,358,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,141,970	4,463,145
短期借入金	2,024,000	4,950,000
1年内償還予定の社債	3,631,000	3,921,000
1年内返済予定の長期借入金	2,259,737	2,118,526
未払法人税等	606,608	1,208,854
賞与引当金	646,681	577,967
前受金	7,389,664	6,794,702
繰延税金負債	104,993	-
その他	2,474,994	2,220,616
流動負債合計	24,279,649	26,254,811
固定負債		
社債	9,506,100	9,525,600
長期借入金	12,506,478	17,619,614
退職給付に係る負債	822,704	842,981
役員退職慰労引当金	63,286	63,286
繰延税金負債	47,566	14,844
その他	2,485,522	2,448,048
固定負債合計	25,431,657	30,514,373
負債合計	49,711,307	56,769,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,283	821,283
利益剰余金	17,816,099	18,952,027
自己株式	444,470	444,699
株主資本合計	18,948,707	20,084,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,039	7,947
その他の包括利益累計額合計	6,039	7,947
非支配株主持分	458,280	497,290
純資産合計	19,413,027	20,589,644
負債純資産合計	69,124,334	77,358,829

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	45,250,280	40,385,630
売上原価	34,884,107	31,129,412
売上総利益	10,366,172	9,256,217
販売費及び一般管理費	6,455,621	6,806,175
営業利益	3,910,551	2,450,041
営業外収益		
受取利息	4,048	5,437
受取配当金	13,896	13,554
受取手数料	18,426	8,057
補助金収入	491	121,400
その他	51,985	30,123
営業外収益合計	88,847	178,574
営業外費用		
支払利息	156,011	147,233
その他	67,673	70,864
営業外費用合計	223,684	218,098
経常利益	3,775,714	2,410,517
特別利益		
固定資産売却益	-	577
関係会社株式売却益	5,234	-
事業譲渡益	14,400	-
その他	7,474	-
特別利益合計	27,108	577
特別損失		
固定資産売却損	-	8,831
固定資産除却損	4,288	25,486
特別損失合計	4,288	34,317
税金等調整前四半期純利益	3,798,534	2,376,777
法人税、住民税及び事業税	1,788,831	1,221,539
法人税等調整額	271,164	260,455
法人税等合計	1,517,667	961,084
四半期純利益	2,280,867	1,415,693
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,661	39,752
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,237,205	1,375,941

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,280,867	1,415,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,243	1,908
その他の包括利益合計	16,243	1,908
四半期包括利益	2,297,110	1,417,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,253,449	1,377,849
非支配株主に係る四半期包括利益	43,661	39,752

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,798,534	2,376,777
減価償却費	546,445	571,143
貸倒引当金の増減額(は減少)	270	297
賞与引当金の増減額(は減少)	40,886	68,714
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	178,980	20,277
受取利息及び受取配当金	17,944	18,992
支払利息	156,011	147,233
事業譲渡損益(は益)	14,400	-
関係会社株式売却損益(は益)	5,234	-
固定資産売却損益(は益)	-	8,253
固定資産除却損	4,288	25,486
売上債権の増減額(は増加)	72,611	138,085
たな卸資産の増減額(は増加)	1,897,554	5,709,659
仕入債務の増減額(は減少)	2,513,806	678,824
その他	3,488	988,068
小計	5,234,425	4,453,469
利息及び配当金の受取額	15,545	15,496
利息の支払額	139,112	139,688
法人税等の支払額	1,498,390	623,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,612,468	5,200,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	4,400	-
有形固定資産の取得による支出	1,865,763	502,996
有形固定資産の売却による収入	-	171,877
無形固定資産の取得による支出	28,004	28,978
投資有価証券の取得による支出	575	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	17,861	-
貸付けによる支出	80,952	66,900
貸付金の回収による収入	12,652	32,797
事業譲渡による収入	14,400	-
その他	427,009	379,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,397,513	14,781
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,307,000	2,926,000
長期借入れによる収入	5,265,861	8,521,199
長期借入金の返済による支出	4,331,104	3,549,274
社債の発行による収入	1,050,000	1,100,000
社債の償還による支出	1,423,000	790,500
自己株式の取得による支出	-	229
配当金の支払額	213,401	239,550
その他	-	730
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,655,355	7,966,915
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,870,309	2,751,212
現金及び現金同等物の期首残高	6,605,211	4,799,498
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,000	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,495,521	7,550,711

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、日本電力(株)は、あなぶきパワー&リース(株)を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、あなぶきパワー&リース(株)は、日本電力(株)に商号変更しております。また、第1四半期連結会計期間において、あなぶきアセット(株)は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
社員給料	1,691,850千円	1,825,749千円
販売促進費	784,597	858,995
賞与引当金繰入額	387,759	419,619
退職給付費用	43,819	55,588

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
現金及び預金勘定	10,503,921千円	7,559,111千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	8,400	8,400
現金及び現金同等物	10,495,521	7,550,711

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年9月28日 定時株主総会	普通株式	213,347	4	平成28年6月30日	平成28年9月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月10日 取締役会	普通株式	160,010	3	平成28年12月31日	平成29年3月6日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額については、基準日が平成28年12月31日であるため、平成29年1月1日付の株式併合前の金額
 を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年9月22日 定時株主総会	普通株式	240,013	45	平成29年6月30日	平成29年9月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年2月9日 取締役会	普通株式	186,674	35	平成29年12月31日	平成30年3月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産 関連事業	人材 サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	33,047,705	3,084,456	3,011,321	1,736,534	2,216,025	2,154,235	45,250,280	-	45,250,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,230	14,595	36,673	1,386	498	113,578	232,962	232,962	-
計	33,113,936	3,099,052	3,047,995	1,737,921	2,216,523	2,267,813	45,483,242	232,962	45,250,280
セグメント利益又は 損失()	4,112,600	40,871	127,843	430,271	74,536	18,528	3,907,052	3,499	3,910,551

(注)1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産 関連事業	人材 サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	26,231,729	3,181,851	3,064,288	2,173,727	3,317,709	2,416,323	40,385,630	-	40,385,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,479	13,869	37,729	1,602	1,711	115,379	319,771	319,771	-
計	26,381,209	3,195,721	3,102,017	2,175,330	3,319,420	2,531,703	40,705,402	319,771	40,385,630
セグメント利益又は 損失()	2,214,347	84,712	198,422	49,958	22,245	20,967	2,446,245	3,796	2,450,041

(注)1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの今後の事業展開を勘案し、報告セグメントを見直しております。従来、「不動産関連事業」「人材サービス関連事業」「施設運営事業」「介護医療関連事業」「その他事業」の5事業区分としておりましたが、「不動産関連事業」「人材サービス関連事業」「施設運営事業」「介護医療関連事業」「小売流通関連事業」「その他事業」の6事業区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 7 月 1 日 至 平成28年12月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 7 月 1 日 至 平成29年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	419円45銭	257円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	2,237,205	1,375,941
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	2,237,205	1,375,941
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,333	5,333

- (注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2 . 平成29年 1 月 1 日を効力発生日として、普通株式10株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1 株当たり四半期純利益金額は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成29年10月11日開催の取締役会において、当社の完全子会社である㈱ブランドゥ穴吹を吸収合併することを決議し、平成30年 1 月 1 日付で吸収合併しております。

1 . 取引の概要

(1) 被合併企業の名称及び事業の内容

被合併企業の名称 ㈱ブランドゥ穴吹
 事業の内容 広告代理事業

(2) 企業結合日

平成30年 1 月 1 日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、㈱ブランドゥ穴吹を消滅会社とする吸収合併方式であります。

(4) その他取引の概要に関する事項

グループ経営の効率化を目的としております。

2 . 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年 9 月13日) 及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年 9 月13日) に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

2 【その他】

平成30年 2 月 9 日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....186百万円

(ロ) 1 株当たりの金額.....35円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成30年 3 月 5 日

(注) 平成29年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月9日

穴吹興産株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 千葉 達也
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 渡辺 力夫
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている穴吹興産株式会社の平成29年7月1日から平成30年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年7月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、穴吹興産株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。